

## 2桁で割る割り算の筆算のやり方を わかりやすく解説（練習問題）

### 2けた÷2けたの筆算

48 ÷ 23 を筆算を使って計算しなさい。

まず、わり算の筆算は次のように書いたよね。

2	3	4	8

家の屋根みたいな記号を使って、  
わられる数が家の中で、わる数が外に出るんだよね。

わる数 / わられる数

さっそく筆算をしていこう。

48って、十の位と一の位があるんだけど、筆算をするときには、十の位と一の位、順番に計算をするんだ。



まずは、十の位だけをわり算するよ。

なので、一の位は「ちょっとまっていてね」と、手でかくしてしまおう。

一の位をかくすと、 $4 \div 23$ になるね。

ただ、わりきれないから、商に「0」をたてよう。

$4 \div 23$ はわりきれないから、0がたつ

		0	
2	3	4	✋

ここで「かくしていた一の位」の出番だよ。

$48$ の中に $23$ がいくつ入るか考えよう。

$48 \div 23$ をしよう。  
 $48$ の中には $23$ がいくつはいるかな？

		0	
2	3	4	8 ✋



コツは、十の位の数に注目して、かりの商をたてること。

$$48 \rightarrow 40$$

23 → 20として考えると、40の中に20は2つ入るよね。

だから、とりあえず商として「2」をたてておこう。

かりの商の見つけ方（商の見当をつけるコツ）

- ・ わられる数、わる数を、何十の数と見て、商を見つける

$$\begin{array}{cc}
 48 \div 23 \\
 \downarrow \quad \downarrow \\
 40 \quad 20
 \end{array}$$

十の位を見ると、  
40の中に20は2つ  
入るよね。

		0	2
2	3	4	8

次に、わる数23と一の位の上にたてた2をかけた数を48の下に書くよ。



			2
2	3	4	8
		4	6

23と2をかける

48から46をひくよ。

			2
2	3	4	8
		4	6
			2

48から  
46をひく

ここでチェックすることがあったね。

ひき算した数がある数23より小さいかをかくにんしよう。

2は23より小さいからOKだね。

			2
2	3	4	8
		4	6
			2

わる数23より  
小さいかチェック



ということは、かりの商「2」は正しいことがわかるよ。  
 答えは「 $48 \div 23 = 2$ あまり2」と求めることができたね。

## かりの商がちがっていた場合

かりの商がちがっていたら、「筆算の計算がどうなるのか」や「どうしたらいいのか」をしようかいするね。

## かりの商を小さくする場合

$68 \div 23$ で一の位の上につ商を考えよう。

$68 \div 23$ をしよう。  
 $68$ の中には23が  
 いくつはいるかな？

2	3	6	8

コツは、十の位の数に注目して、かりの商をたてることだったね。

$$68 \rightarrow 60$$

$23 \rightarrow 20$ として考えると、60の中に20は3つ入るよね。

だから、とりあえず、商として「3」をたてておこう。



十の位を見ると、  
60の中に20は3つ  
入るよね。

			3
2	3	6	8

次に、わる数23と一の位の上にたてた3をかけた数を68の下に書くよ。

			3
2	3	6	8
		6	9

23と3をかける

68から69をひきたいんだけど、ひくことができないよね。

			3
2	3	6	8
		6	9
			!

68から  
69をひく



かりの商「3」がちがうんだ。  
 だから、かりの商「3」を1つ小さくしてみよう。

			3
2	3	/	6 8
			6 9

ひけない !

			2
2	3	/	6 8
			4 6

2 3 と 2 をかける

あとは、今まで同じように筆算をしていけばいいね。  
 6 8 から 4 6 をひくよ。

			2
2	3	/	6 8
			4 6
			2 2

6 8 から  
4 6 をひく

ここでチェックすることがあったね。  
 ひき算した数がある数 2 3 より小さいかをかくにんしよう。  
 2 2 は 2 3 より小さいから OK だね。



			2
2	3	6	8
		4	6
		2	2

わる数23より  
小さいかチェック

かりの商がちがっていると、ひき算ができなくなるんだ。  
そういうときは、かりの商を1つ小さくするといよ。

### かりの商を大きくする場合

68 ÷ 23で一の位の上に「1」をたてたとしてしよう。

			1
2	3	6	8

次に、わる数23と一の位の上にたてた1をかけた数を68の下に書くよ。





			1
2	3	6	8
		2	3

23と1をかける

68から23をひこう。

			1
2	3	6	8
		2	3
		4	5

68から  
23をひく

ここでチェックすることがあったね。

ひき算した数がある数23より小さいかをかくにんしよう。

ひき算した数は45だから、わる数より小さくないよね。

ということは、かりの商「1」がまちがっていることになるんだ。

だから、かりの商「1」を1つ大きくしてみよう。



			1					2		
2	3	/	6	8		2	3	/	6	8
			2	3					4	6
			4	5						

23と2をかける

かりの商がちがっていると、ひき算したあとの数が「わる数」より大きくなるんだ。

そういうときは、かりの商を1つ大きくするといいよ。

### 3けた÷2けたの筆算

153÷24を筆算を使って計算しなさい。

わり算の筆算は次のように書いたよね。

2	4	/	1	5	3

153って、百の位と十の位と一の位があるんだけど、筆算をするときには、百の位と十の位と一の位、順番に計算をするんだ。



まずは、百の位だけをわり算するよ。

なので、十の位と一の位は「ちょっとまわっていてね」と、手でかくしてしまおう。

十の位と一の位をかくすと、 $1 \div 24$ になるね。  
ただ、わりきれないから、商に「0」をたてよう。

$1 \div 24$  はわりきれないから、0がたつ

		0		
2	4	/	1	✋ ✋

ここで「かくしていた十の位」の出番だよ。

15の中に24がいくつ入るか考えよう。

ただ、わりきれないから、商に「0」をたてよう。

$15 \div 24$  はわりきれないから、0がたつ

		0	0	
2	4	/	1	5 ✋
				✋



最後に「かくしていた一の位」の出番だよ。  
 153の中に24がいくつ入るか考えよう。

153 ÷ 24 をしよう。  
 153の中には24が  
 いくつはいるかな？

		0	0		
2	4	/	1	5	3

ゆみねこの教科書

コツは、十の位の数に注目して、かりの商をたてること。  
 153 → 150  
 24 → 20として考えると、150の中に20は7つ入るよね。

だから、とりあえず商として「7」をたてておこう。

150の中に20は  
 7つ入るよね。

		0	0	7	
2	4	/	1	5	3

ゆみねこの教科書

次に、わる数24と一の位の上にたてた7をかけた数を153の下に書  
 よ。



				7	
2	4	/	1	5	3
			1	6	8
			24と7をかける		

153から168をひきたいんだけど、ひくことができないよね。  
 ということはかりの商「7」がちがうんだ。  
 だから、かりの商「7」を1つ小さくしてみよう。

				7	
2	4	/	1	5	3
			1	6	8
			24と7をかける		

→

				6	
2	4	/	1	5	3
			1	4	4
			24と6をかける		

あとは、今まで同じように筆算をしていけばいいね。  
 153から144をひくよ。

				6	
2	4	/	1	5	3
			1	4	4
			153から 144をひく		9



ここでチェックすることがあったね。

ひき算した数がある数24より小さいかをかくにんしよう。

9は24より小さいからOKだね。

				6
2	4	/	1	5
			1	4
				9

わる数24より  
小さいかチェック

答えは「 $153 \div 24 = 6$ あまり9」と求めることができたね。

713 ÷ 41 を筆算を使って計算しなさい。

わり算の筆算は次のように書いたよね。

4	1	/	7	1

713って、百の位と十の位と一の位があるんだけど、筆算をするときには、百の位と十の位と一の位、順番に計算をするんだ。

まずは、百の位だけをわり算するよ。



なので、十の位と一の位は「ちょっとまっけていてね」と、手でかくしてしまおう。

十の位と一の位をかくすと、 $7 \div 41$ になるね。  
ただ、わりきれないから、商に「0」をたてよう。

$7 \div 41$ はわりきれないから、0がたつ

		0		
4	1	7	✋	✋

ここで「かくしていた十の位」の出番だよ。  
 $71$ の中に $41$ は1つ入るよね。

$71 \div 41$ をしよう。  
 $71$ の中に $41$ は1つ入るね。

		0	1	
4	1	7	1	✋
				✋

わる数 $41$ と一の位の上にたてた $1$ をかけた数を $71$ の下に書くよ。



		0	1	
4	1	7	1	👉
		4	1	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">                 41と1をかける             </div>				

71から41をひこう。

			1	
4	1	7	1	👉
		4	1	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">                 71から 41をひく             </div>				
		3	0	

ひき算した数がある数41より小さいかをかくにんしよう。  
30は41より小さいからOKだね。

			1	
4	1	7	1	👉
		4	1	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">                 わる数41より 小さいかチェック             </div>				
		3	0	





最後に「かくしていた一の位」の出番だよ。  
一の位の「3」を下におろそう。

			1		
4	1	/	7	1	3
			4	1	
			3	0	3

一の位の3をおろす

303の中に41はいくつ入るかを考えよう。

303 ÷ 41 をしよう。  
303の中に41はいくつはいるかな。

			1		
4	1	/	7	1	3
			4	1	
			3	0	3

コツは、十の位の数に注目して、かりの商をたてること。

$303 \rightarrow 300$

41 → 40として考えると、303の中に40は7つ入るよね。

だから、とりあえず、商として「7」をたてておこう。



			1	7
4	1	/	7	1
			4	1
			3	0
			3	

300の中に40は7つ入るよね。

次に、わる数41と一の位の上にたてた7をかけた数を303の下に書いてひき算するよ。

			1	7
4	1	/	7	1
			4	1
			3	0
			2	8
			1	6

41と7をかける

303から287をひく

ここでチェックすることがあったね。  
 ひき算した数がわる数41より小さいかをかくにんしよう。  
 16は41より小さいからOKだね。



			1	7
4	1	/	7	1
			4	1
			3	0
			2	8
			1	6

わる数41より  
小さいかチェック

答えは「713 ÷ 41 = 17あまり16」と求めることができたね。

## 2けたでわる筆算の練習問題

84 ÷ 20 を筆算を使って計算しなさい。

わり算の筆算は次のように書いたよね。

2	0	/	8



84って、十の位と一の位があるんだけど、筆算をするときには、十の位と一の位、順番に計算をするんだよね。

まずは、十の位だけをわり算するよ。

なので、一の位は「ちょっとまわってね」と、手でかくしてしまおう。

一の位をかくすと、 $8 \div 20$ になるね。

ただ、わりきれないだから、商に「0」をたてよう。

8 ÷ 20はわりきれないから、0がたつ

		0	
2	0	/	8




ここで「かくしていた一の位」の出番だよ。

84の中に20がいくつ入るか考えよう。

84 ÷ 20をしよう。  
84の中には20がいくつはいるかな？

		0	
2	0	/	84




コツは、十の位の数に注目して、かりの商をたてること。

$84 \rightarrow 80$

として考えると、 $80$ の中に $20$ は4つ入るよね。

だから、とりあえず、商として「4」をたてておこう。

			4
2	0	/	84

十の位を見ると、  
80の中に20は4つ  
入るよね。

ゆみねこの教科書

次に、わる数20と一の位の上にたてた4をかけた数を84の下に書くよ。

			4
2	0	/	84
			80

20と4をかける

ゆみねこの教科書

$84$ から $80$ をひくよ。



			4
2	0	8	4
		8	0
			4

84から  
80をひく

ここでチェックすることがあったね。  
ひき算した数がある数20より小さいかをかくにんしよう。  
4は20より小さいからOKだね。

			4
2	0	8	4
		8	0
			4

わる数20より  
小さいかチェック

ということは、かりの商「4」は正しいことがわかるよ。  
「 $84 \div 20 = 4$ あまり4」と求めることができたね。



60 ÷ 19 を筆算を使って計算しなさい。

わり算の筆算は次のように書いたよね。

1	9	6	0

60って、十の位と一の位があるんだけど、筆算をするときには、十の位と一の位、順番に計算をするんだよね。

まずは、十の位だけをわり算するよ。  
 なので、一の位は「ちょっとまわってね」と、手でかくしてしまおう。

一の位をかくすと、6 ÷ 19になるね。  
 ただ、わりきれないよね。だから、商に「0」をたてよう。

6 ÷ 19 はわりきれないから、0がたつ

		0	
1	9	6	👋



ここで「かくしていた一の位」の出番だよ。  
60の中に19がいくつ入るか考えよう。

60 ÷ 19をしよう。  
60の中には19が  
いくつはいるかな？

		0	
1	9	6	0

コツは、十の位の数に注目して、かりの商をたてること。  
19 → 10  
として考えると、60の中に10は6つ入るよね。

だから、とりあえず、商として「6」をたてておこう。

十の位を見ると、  
60の中に19は6つ  
入るよね。

		0	6
1	9	6	0

次に、わる数19と一の位の上にたてた6をかけた数を60の下に書くよ。





			6
1	9	/	60
	1	1	4

19と6をかける

どう考えても60から114はひくことができないから、かりの商「6」を1つ小さくしよう。

			6
1	9	/	60
	1	1	4

19と6をかける

			5
1	9	/	60
			95

19と5をかける

60から95はひくことができないから、かりの商「5」を1つ小さくしよう。

			5
1	9	/	60
			95

19と5をかける

			4
1	9	/	60
			76

19と4をかける



60から76はひくことができないから、かりの商「4」を1つ小さくしよう。

			4
1	9	6	0
		7	6
19と4をかける			

			3
1	9	6	0
		5	7
19と3をかける			

60から57をひくことはできるから、商は「3」になることがわかったね。

あとは今まで同じように60から57をひこう。

			3
1	9	6	0
		5	7
60から 57をひく			3

ここでチェックすることがあったね。

ひき算した数がある数19より小さいかをかくにんしよう。

3は19より小さいからOKだね。



			3
1	9	6	0
		5	7
			3

わる数19より  
小さいかチェック

「 $60 \div 19 = 3$ あまり3」と求めることができたね。

684 ÷ 21 を筆算を使って計算しなさい。

わり算の筆算は次のように書いたよね。

2	1	6	8	4

684って、百の位と十の位と一の位があるんだけど、筆算をするときには、百の位と十の位と一の位、順番に計算をするんだ。

まずは、百の位だけをわり算するよ。



なので、十の位と一の位は「ちょっとまわってね」と、手でかくしてしまおう。

十の位と一の位をかくすと、 $6 \div 21$ になるね。

ただ、わりきれないから、商に「0」をたてよう。





6 ÷ 2 1 はわりきれないから、0がたつ

		0		
2	1	/	6	 

ここで「かくしていた十の位」の出番だよ。  
68の中に21は3つ入るよね。

68 ÷ 21 をしよう。  
68の中に21は3つ入るね。

		0	3	
2	1	/	6	8 
				

わる数21と一の位の上にたてた3をかけた数を68の下に書くよ。



		0	3	
2	1	6	8	👉
		6	3	
21と3をかける				

68から63をひこう。

			3	
2	1	6	8	👉
		6	3	
68から 63をひく				
			5	

ひき算した数がある数21より小さいかをかくにんしよう。

5は21より小さいからOKだね。

			3	
2	1	6	8	👉
		6	3	
わる数21より 小さいかチェック				
			5	

最後に「かくしていた一の位」の出番だよ。

一の位の「4」を下におろそう。



			3		
2	1	/	6	8	4
			6	3	
			5	4	

一の位の4をおろす

54の中に21はいくつ入るかを考えよう。

54 ÷ 21 をしよう。  
54の中に21は  
2つ入るよね。

			3	2	
2	1	/	6	8	4
			6	3	
			5	4	

次に、わる数21と一の位の上にたてた2をかけた数を54の下に書いてひき算するよ。



			3	2	
2	1	/	6	8	4
			6	3	
			5	4	
			4	2	
			1	2	

21と2をかける

54から  
42をひく

ゆみねこの教科書

ここでチェックすることがあったね。  
ひき算した数がある数21より小さいかをかくにんしよう。  
12は21より小さいからOKだね。

			3	2	
2	1	/	6	8	4
			6	3	
			5	4	
			4	2	
			1	2	

わる数21より  
小さいかチェック

ゆみねこの教科書

答えは「684 ÷ 21 = 32あまり12」と求めることができたね。



## 「わり算の筆算のやり方（2けたでわる筆算）」まとめ

- ・ わられる数、わる数を、何十の数と見て、かりの商を見つける。
- ・ かりの商がちがっていると、ひき算ができなくなる。  
そういうときは、かりの商を1つ小さくする。
- ・ かりの商がちがっていると、ひき算したあとの数が「わる数」より大きくなる。そういうときは、かりの商を1つ大きくする。

